

(様式1)

令和 8 年度

業 務 () 設 計 書

(業務委託名) 市道岩吉陸橋線岩吉陸橋修繕工事に伴う測量調査設計業務 (補助)

(業務委託箇所) 鳥取市 岩吉 地内

課 長	課長補佐	維持係長	精 査	設 計 者

令和 年 月 日

鳥 取 市

(様式2)

業 務 () 概 要

1. 設 計 金 額 _____ 円 (内、消費税相当額 _____ 円)

2. 工 期 _____ 令 和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 令 和 9 年 3 月 19 日 (_____ 日間)

3. 業 務 委 託 概 要

岩吉陸橋	L=119.7m	
測量業務	N=1 式	
詳細調査	N=1 式	
設計業務	N=1 式	

4. 変更請負額の算定

変更前請負額(税込)

変更業務委託価格

×

変 更 落 札 額 = _____ =

(千円未満切り捨て)

変更前業務委託設計額(税込)

×

10%

変 更 消 費 税 額 = _____ =

+

変 更 請 負 額 = _____ =

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	51 鳥取市 設計書 当初 08-*****-00000-10 0 1 実施単価 03 鳥取市 00-08.06.10(0) 5 委託:H23.10以降			
	当 世 代	前 世 代		
発注区分 業務区分 工事価格端数処理	41 一般（建設） 01 土木 00 千円止め			

* 測量業務委託費 *

内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
測量業務委託費									X1000	
測量業務									Y1999	(レバ Ⅱ1)
基準点測量									Y2999	(レバ Ⅱ2)
4級基準点測量 新点35点 永久標識設置なし・伐採なし									SC006	00
									A=6, B=4	
	2			点					単第0 -0001	表 080610
現地測量									Y2999	(レバ Ⅱ2)
現地測量 測量面積0.0035km2 都市近郊/平地 縮尺 1/ 500									SC000023	00
									A=0.0035, B=4, C=3	
	1			一式					単第0 -0002	表 080610
路線測量									Y2999	(レバ Ⅱ2)
横断測量									V3001	00
	1			本					単第0 -0003	表 080610
直接測量費（人件費、材料費、機械経費）										

* 測量業務委託費 *

内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
旅費交通費									Z0045	
旅費交通費（測量） 調査・計画業務以外									STM03001X1 00 A=1	
	1			一式					単第0 -0005 表	080610
安全費									Z0003	
工事管理者									F0016 00	
	4			人						080610
列車見張員									F0017 00	
	2			人						080610
電子成果品作成費・業務成果品費									Z0011	
				一式						
直接経費										
直接測量費										
諸経費										

＊ 測量業務委託費 ＊

内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
業務価格						
消費税相当額						
業務委託費						

* 設計業務委託費 *

内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計業務委託費						X3000
橋梁詳細調査						Y1999 (レベル1) E=(X3000設計) 概略・予備・詳細設計
調査計画						Y2999 (レベル2)
調査計画						V0002 00
詳細調査	1		業務			単第0 -0006 表 080610
						Y2999 (レベル2)
現地踏査						V0001 00
	1		橋			単第0 -0007 表 080610
形状調査・一般図作成						V0003 00
	1		橋			単第0 -0008 表 080610
変状調査 上部工						V0004 00
	1		橋			単第0 -0009 表 080610
変状調査 下部工						V0005 00
	1		橋			単第0 -0010 表 080610

* 設計業務委託費 *

内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
調査結果とりまとめ						V0006 00
	1		橋			単第0 -0011 表 080610
橋梁詳細設計						Y1999 (レベル1) E=(X3000設計) 概略・予備・詳細設計
設計計画						Y2999 (レベル2)
設計計画						V0016 00
	1		業務			単第0 -0012 表 080610
詳細設計						Y2999 (レベル2)
原因推定および健全度評価						V0017 00
	1		橋			単第0 -0013 表 080610
補修工法の比較・検討						V0018 00
	1		橋			単第0 -0014 表 080610
補修詳細設計（上部工（鋼部材））						V0019 00
	1		橋			単第0 -0015 表 080610
補修詳細設計（下部工）						V0020 00
	1		基			単第0 -0016 表 080610

* 設計業務委託費 *

内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
補修詳細設計（下部工）						V0021 00
	2		基			単第0 -0017 表 080610
補修詳細設計（支承防錆）						V0022 00
	1		橋			単第0 -0018 表 080610
施工計画						V0024 00
	1		橋			単第0 -0019 表 080610
概算工事費の算出						V0025 00
	1		橋			単第0 -0020 表 080610
報告書作成						V0028 00
	1		橋			単第0 -0021 表 080610
設計協議						Y2999 (レバ)2)
設計協議 初回、中間2回、最終						V0026 00
	1		業務			単第0 -0022 表 080610
関係機関協議 JR打合せ 4回						V0031 00
	1		業務			単第0 -0023 表 080610
関係機関との協議資料作成						SA080100030 00
	1		業務			単第0 -0024 表 080610

* 設計業務委託費 *

内訳書

頁0-0008

照査	費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
										Y2999	(レベル2)
	照査									V0027	00
		1		業務						単第0 -0025	表 080610
直接人件費											
	旅費交通費									Z0045	
	旅費交通費（設計） 調査・計画業務以外									STM03001X3	00
		1		一式						A=1	
										単第0 -0026	表 080610
電子成果品作成費・業務成果品費										Z0047	
	電子成果品作成費(設計) 概略・予備・詳細設計									STM02018X3	00
		1		一式						A=5	
										単第0 -0027	表 080610
安全費										Z0003	
	工事管理者									F0016	00
		6		人							080610

* 設計業務委託費 *

内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
列車見張員									F0017	00
	4			人						080610
試験費									Z0016	
鉄筋探査工 0.25m2(0.5m×0.5m/箇所) 横向き									V0007	00
	3			箇所					単第0 -0028	表 080610
はつり調査・復旧 横向き									V0011	00
	3			箇所					単第0 -0030	表 080610
コア採取・復旧 圧縮強度試験用,膨張量試験用									V0012	00
	6			箇所					単第0 -0031	表 080610
中性化試験 コンクリートの中性化深さの測定									F0002	00
	3			試料						080610
圧縮強度試験 コンクリートの圧縮強度試験 コアの切断・試料研磨整形含む									F0003	00
	3			試料						080610
コンクリートの静弾性係数試験 コアの切断・試料研磨整形を除く コンクリートの圧縮強度試験を除く									F0004	00
	3			試料						080610
膨張量試験 コンクリートの残存膨張量試験(JCI法)									F0006	00
	3			試料						080610

＊ 設計業務委託費 ＊

内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩分含有量試験 硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験						F0007 00
	3		試料			080610
直接経費						
直接原価						
その他原価						
業務原価						
一般管理費等						
業務価格						
消費税相当額						
業務委託費						

＊ 設計業務委託費 ＊

内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
業務費計											

4級基準点測量
新点35点 永久標識設置なし・伐採なし

SC006

施工単価表

単第0 -0001 表

頁0-0012

1 点 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量技師 (外業)	5.5	人			R0930 外業 123
測量技師補 (外業)	5.5	人			R0940 外業 123
測量助手 (外業)	7.0	人			R0950 外業 123
測量主任技師 (内業)	1.0	人			R0710 内業 123
測量技師 (内業)	2.5	人			R0720 内業 123
測量技師補 (内業)	2.5	人			R0730 内業 123
測量助手 (内業)	1.0	人			R0740 内業 123
直接人件費計					+00 4
機械経費	2.5	%			#01 直接人件費 × 率 4
材料費	2.0	%			#02 直接人件費 × 率
通信運搬費等	2.5	%			#03 直接人件費 × 率
精度管理費	9	%			#04 (直接人件費+機械経費) × 係数

4級基準点測量

新点35点 永久標識設置なし・伐採なし

SC006

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0013

1 点 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
変化率					+00
一点当り		点			+00
*** 単位当たり ***	1	点			
A=6 4級新設(永久標識設置なし・伐採なし)			B=4 都市近郊/平 地		
(変化率の計算) 地域差による変化率 = 0.0 変化率 = 1 + 0.000 = 1.0					

現地測量
測量面積0.0035km2

SC000023
都市近郊/平地 縮尺 1/ 500

施工単価表

単第0 -0002 表

頁0-0014

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量技師 (外業)	1.891	人			R0930 6.1*0.31 123
測量技師補 (外業)	2.914	人			R0940 9.4*0.31 123
測量助手 (外業)	2.542	人			R0950 8.2*0.31 123
測量主任技師 (内業)	0.093	人			R0710 0.3*0.31 123
測量技師 (内業)	0.961	人			R0720 3.1*0.31 123
測量技師補 (内業)	2.480	人			R0730 8*0.31 123
直接人件費計					+00 4
機械経費	5.0	%			#01 直接人件費 × 率 4
通信運搬費等	0.5	%			#02 直接人件費 × 率
材料費	2.0	%			#03 直接人件費 × 率
精度管理費	5	%			#04 (直接人件費+機械経費) × 係数
変化率					+00

SC000023

單第0 -0002 表

都市近郊/平地 縮尺 1/ 500

1 式 当り

[illegible]

横断測量

V3001

施 工 単 価 表

単第0 -0003 表

頁0-0016

51 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路線測量(横断測量) 幅 135m以上～145m未満 測定間隔 20m	1	km			SC076 単第0-0004 表
*** 合計 ***	51	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 単 価 表

頁0-0017

路線測量(横断測量)
幅 135m以上～145m未満

測定間隔
SC076
20m

単第0 -0004 表

1 km 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量技師 (外業)	6.4	人			R0930 外業 12
測量技師補 (外業)	7.2	人			R0940 外業 12
測量助手 (外業)	5.3	人			R0950 外業 12
測量技師 (内業)	3.9	人			R0720 内業 12
測量技師補 (内業)	3.4	人			R0730 内業 12
測量助手 (内業)	1.5	人			R0740 内業 12
直接人件費計					+00 3
機械経費	2.5	%			#01 直接人件費×率 3
材料費	2.5	%			#02 直接人件費×率
精度管理費	10	%			#03 (直接人件費+機械経費)×係数
変化率					+00
*** 単位当たり ***	1	km			

施工単価表

頁0-0018

路線測量(横断測量)
幅 135m以上～145m未満

SC076
20m

單第0 -0004 表

1 km 当り

[illegible]

旅費交通費（測量）
調査・計画業務以外

STM03001X1

施工単価表

単第0 -0005 表

頁0-0019

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
旅費交通費	1.00	一式			E0001
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=1 宿泊，滞在を伴わない業務の場合			C=0 往復旅行時間にかかる直接人件費（円）		

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.40	人			R0610
技師 (A) (内業)	0.40	人			R0620
技師 (B) (内業)	0.80	人			R0630
補正 (橋面積)		業務			+00
＊ ＊ ＊ 単位当たり ＊ ＊ ＊	1	業務			
補正係数=2.20					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (外業)	0.40	人			R0870
技師 (B) (外業)	0.40	人			R0890
補正 (橋面積)		橋			+00
*** 単位当たり ***	1	橋			
補正係数=2.20					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） （外業）	0.40	人			R0880
技師（B） （外業）	0.80	人			R0890
技師（C） （外業）	0.80	人			R0900
補正（橋面積・一般図の有無等）		橋			+00
*** 単位当たり ***	1	橋			
補正係数=2.20					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (外業)	0.80	人			R0870
技師 (A) (外業)	1.20	人			R0880
技師 (B) (外業)	2.00	人			R0890
補正 (橋面積 ・ 上部工の断面形状等)		橋			+00
＊ ＊ ＊ 単位当たり ＊ ＊ ＊	1	橋			
補正係数=4.40					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (外業)	0.80	人			R0870
技師 (A) (外業)	1.60	人			R0880
技師 (B) (外業)	1.60	人			R0890
技師 (D) (技術員) (外業)	1.60	人			R0905
補正 (下部工基数・車線数)		橋			+00
＊ ＊ ＊ 単位当たり ＊ ＊ ＊	1	橋			
補正係数=1.00					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.40	人			R0610
技師 (A) (内業)	0.80	人			R0620
技師 (B) (内業)	0.80	人			R0630
技師 (D) (技術員) (内業)	1.20	人			R0645
補正 (橋面積)		橋			+00
＊ ＊ ＊ 単位当たり ＊ ＊ ＊	1	橋			
補正係数=2.20					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.40	人			R0610
技師 (A) (内業)	1.20	人			R0620
技師 (B) (内業)	1.20	人			R0630
補正 (橋面積)		業務			+00
*** 単位当たり ***	1	業務			
補正係数=1.80					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） （内業）	1.00	人			R0620
技師（C） （内業）	1.00	人			R0640
補正（橋面積）		橋			+00
*** 単位当たり ***	1	橋			
補正係数=1.80					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.50	人			R0610
技師 (A) (内業)	0.50	人			R0620
技師 (B) (内業)	1.00	人			R0630
技師 (C) (内業)	1.40	人			R0640
技師 (D) (技術員) (内業)	1.90	人			R0645
補正 (橋面積)		橋			+00
*** 単位当たり ***	1	橋			
補正係数=1.80					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） （内業）	1.00	人			R0620
技師（B） （内業）	1.00	人			R0630
技師（C） （内業）	3.00	人			R0640
技師（D）（技術員） （内業）	3.60	人			R0645
補正（橋面積）		橋			+00
＊ ＊ ＊ 単位当たり ＊ ＊ ＊	1	橋			
補正係数=1.80					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（C） （内業）	1.50	人			R0640
技師（D）（技術員） （内業）	1.50	人			R0645
補正（基本構造物）		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
補正係数=1.00					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（C） （内業）	1.50	人			R0640
技師（D）（技術員） （内業）	1.50	人			R0645
補正（類似構造物）		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
補正係数=0.70					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B） （内業）	1.00	人			R0630
技師（C） （内業）	1.00	人			R0640
技師（D）（技術員） （内業）	2.00	人			R0645
*** 単位当たり ***	1	橋			

施工単価表

1 橋 当り

[illegible]

概算工事費の算出

V0025

施 工 単 価 表

単第0 -0020 表

頁0-0034

1 橋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B） （内業）	0.48	人			R0630
技師（C） （内業）	0.96	人			R0640
技師（D）（技術員） （内業）	0.96	人			R0645
補正（橋面積）		橋			+00
*** 単位当たり ***	1	橋			
補正係数=1.80					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.56	人			R0610
技師 (B) (内業)	1.20	人			R0630
技師 (C) (内業)	2.00	人			R0640
技師 (D) (技術員) (内業)	2.00	人			R0645
補正 (橋面積)		橋			+00
＊ ＊ ＊ 単位当たり ＊ ＊ ＊	1	橋			
補正係数=1.80					

設計協議
初回、中間2回、最終

V0026

施 工 単 価 表

単第0 -0022 表

頁0-0036

1

業務 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	1.00	人			R0610
技師 (A) (内業)	2.00	人			R0620
技師 (B) (内業)	1.00	人			R0630
*** 単位当たり ***	1	業務			

関係機関協議
JR打合せ 4回

V0031

施 工 単 価 表

単第0 -0023 表

頁0-0037

1

業務 当り
考

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	2.00	人			R0610
技師 (A) (内業)	2.00	人			R0620
* * * 単位当たり * * *	1	業務			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B）	3.5	人			R0000041
技師（C）	3.2	人			R0000043
技術員 （内業）	1.9	人			R0650
*** 単位当たり ***	1	業務			

照査

V0027

施 工 単 価 表

単第0 -0025 表

頁0-0039

1 業務 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 (内業)	0.96	人			R0610
技師 (A) (内業)	0.96	人			R0620
補正 (橋面積)		業務			+00
*** 単位当たり ***	1	業務			
補正係数=1.80					

旅費交通費（設計）
調査・計画業務以外

STM03001X3

施工単価表

単第0 -0026 表

頁0-0040

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
旅費交通費	1.00	一式			E0001
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=1 宿泊，滞在を伴わない業務の場合			C=0 往復旅行時間にかかる直接人件費（円）		

電子成果品作成費(設計)
概略・予備・詳細設計

STM02018X3

施工単価表

単第0 -0027 表

頁0-0041

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電子成果品作成費	1.00	一式			E0001
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 概略・予備・詳細設計					

V0007

單第0 -0028 表

1

箇所 当り

横向き

[illegible]

鉄筋探査工
横向き

V00007

施工単価表

単第0 -0029 表

頁0-0043

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師 (A) (外業)	1.0	人			R0880 9
技師 (B) (外業)	2.0	人			R0890 9
技師 (C) (外業)	2.0	人			R0900 9
諸雑費	5	%			#09
小計(1日当り)		日			+00
1m2当り換算		m2			+00
* * * 単位当たり * * *	1	m2			
12.5m2/日					

施 工 単 価 表

V0011

単第0 -0030 表

1

箇所 当り

はつり調査・復旧
横向き

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質調査員 外業	0.20	人			R0000005
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.018	m3			F3003
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

頁0-0045

コア採取・復旧

V0012

単第0 -0031 表

圧縮強度試験用,膨張量試験用

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Co削孔(電動式コアボーリングマシン) アンカー材径80mmを超え100mm以下 削孔深さ500mm以下	1	孔			SPK25040347 単第0-0032 表
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.002	m3			F3003
充填補修	1	孔			SPK25040353 単第0-0033 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

Co削孔(電動式コアボーリングマシン)

SPK25040347

単第0 -0032 表

アンカー材径80mmを超え100mm以下

削孔深さ500mm以下

1

孔 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 74.87%

材料構成比： 25.13%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	34.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	31.61%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット φ 110mm	25.13%		ダイヤモンドビット φ 110mm		TTPC00235 TTPT00235
積算単価			積算単価		EP001
A=8 アンカー材径80mmを超え100mm以下 C=1 -(全ての費用)			B=1 削孔深さ500mm以下		

充填補修

SPK25040353

施工単価表

単第0 -0033 表

頁0-0047

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 孔 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	59.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	36.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

單 價 一 覽 表

(業務名) 市道岩吉陸橋線岩吉陸橋修繕工事に伴う測量調査設計業務(補助)

[illegible]

測量 数量総括表

[illegible]

詳細調査 数量総括表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備考
橋梁詳細調査				
調査計画				
調査計画		業務	1	補正係数 a :2.20
詳細調査				
現地踏査		橋	1	補正係数 a :2.20
形状調査・一般図作成		橋	1	補正係数 a×b:2.20
変状調査 上部工		橋	1	補正係数 a×c:4.40
変状調査 下部工		橋	1	補正係数 d×e:1.00
調査結果とりまとめ		橋	1	補正係数 a :2.20
試験費				
鉄筋探査	0.25m ² (0.5m×0.5m)/箇所 横向き	箇所	3	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
はつり調査・復旧	横向き	箇所	3	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
コア採取・復旧	圧縮強度試験用、膨張量試験用	箇所	6	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
中性化試験		試料	3	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
圧縮強度試験	コアーの切断・試料研磨整形含む	試料	3	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
静弾性係数試験	コアーの切断・試料研磨整形、圧縮強度試験を除く	試料	3	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
膨張量試験		試料	3	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
塩分含有量試験		試料	3	P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚
安全費				
工事管理者	昼間	人	6	1人/日 JR申請作成1日+立入協議1日+踏査1日+調査3日
列車見張員	昼間	人	4	1人/日 踏査1日+調査3日

詳細調査 補正係数

項目	補正係数	計 算 式 等	備考
橋面積 (a)	2.20	幅員 延長 面積 第5径間 7.90 × 43.70 = 345.23 第6径間 7.90 × 28.00 = 221.20 第7径間 (7.90 + 8.89)/2 × 24.00 = 201.48 第8径間 (8.89 + 9.40)/2 × 24.00 = 219.48 計 987.39m² 橋面積 750m²以上1,000m²未満	
既存一般図の有無による補正 (b)	1.00	CADデータ有	
上部工の断面形状等による補正 (c)	2.00	鋼橋	
下部工の基礎による補正 (d)	1.00	3基 (P4橋脚、P5橋脚、P7橋脚) 1+0.5×(3-3)	
車線数による補正 (e)	1.00	3車線未満 (2車線)	

詳細設計 数量総括表

[illegible]

詳細設計 補正係数			
項目	補正係数	計 算 式 等	備考
橋面積 (f)	1.80	幅員 延長 面積	
		第5径間 7.90 × 43.70 = 345.23	
		第6径間 7.90 × 28.00 = 221.20	
		第7径間 (7.90 + 8.89)/2 × 24.00 = 201.48	
		第8径間 (8.89 + 9.40)/2 × 24.00 = 219.48	
		計 987.39m ²	
		橋面積 750m ² 以上1,000m ² 未満	
類似構造の場合の補正 (g)	基本 1.00	基数 n=3基 (基本構造物 1基 +類似構造物 2基)	
	類似 0.70		

【共通】

業務名：市道岩吉陸橋線岩吉陸橋修繕工事に伴う測量調査設計業務(補助)

特記仕様書

第1(目的・主旨)

本業務は、市道岩吉陸橋線において、岩吉陸橋の修繕工事に係る測量、調査、設計を行うものである。

第2(適用範囲)

本業務の履行に当たっては、特に定めのない限り、調達公告日(入札通知日)時点で最新の「測量業務共通仕様書」、「設計業務共通仕様書」(<https://www.pref.tottori.lg.jp/45149.htm>)によるほか、この特記仕様書によること。

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
追加				業務内容		橋梁補修調査設計 測量業務 一式 詳細調査業務 一式 詳細設計業務 一式
追加				資料の貸与及び返却		本業務において必要となる資料については、初回打合せ時において、双方確認し貸与することとする。
追加				関係官公庁への手続き等		関係官公庁等への手続き状況は以下のとおりである。 なお、これら以外の機関と協議が必要となることが想定される場合には、調査職員に速やかに報告すること。 ・鉄道管理者と、測量・調査時の近接作業、調査・設計方法等の協議が未協議である。
追加	1			地元関係者との交渉等		・地元関係者から事業に関する質問があった場合の回答は、調査職員の承諾を得た上で行うこと。 ・個人情報の取扱については、個人の権利利益を侵害することのないよう留意するとともに、情報を収集する際には、目的の範囲内で行うこと。 ・調査を実施する際には、あらかじめ周辺住民へも調査立ち入りの理由を周知すること。
追加				成果物の提出		成果物は、下記のとおりとする。 ・報告書 1部 ・図面(A3縮小版) 1部 ・電子媒体(CD-ROM 又は DVD-R) 2部 ・紙媒体 1部 また、本業務は、電子納品対象業務であり、 https://www.city.tottori.lg.jp/page/5575.html に掲載された本業務調達公告(入札日の通知)日時点で最新の「鳥取市電子納品・情報共有運用ガイドライン」によること。
追加				関連業務		当業務と関連する業務はない。

【共通】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協議し、速やかに処理すること。
追加				見積り等		本業務の測量および詳細調査の際に配置する、「工事管理」と「列車見張員」の単価は見積りを採用している。別紙「見積単価一覧表」を参照すること。 以下の項目については、見積りにて積算しており内訳は施工単価表のとおり。 測量業務「横断測量」
追加				労働環境の改善に向けた取組		本業務の実施にあたっては、受発注者双方の労働環境の改善を図るため、「労働環境の改善に向けた取組について（平成 29 年 1 月 31 日付第 201600158128 号県土整備部長通知）」に基づき、受発注者双方でワンデーレスポンス、ウェンズデー・ホーム等の労働環境の改善に向けた取組を実施すること。 受注者は初回協議時、ウィークリースタンスの取組内容を協議することとし、受発注者間で確認・共有すること。また、設定した内容は打合せ議事録等に記載すること。
追加				設計変更等取扱要領		設計変更等については、 https://www.pref.tottori.lg.jp/303205.htm に掲載された最新の「測量等業務設計変更等取扱要領」によること。
追加				情報共有システム		当業務は、情報共有システムの対象である。 情報共有システムの活用を希望する場合は、https://www.city.tottori.lg.jp/page/5575.htmlに掲載された本業務調達（入札日の通知）日時点で最新の「鳥取市電子納品・情報共有運用ガイドライン」によること。
追加				遠隔臨場		当業務は、遠隔臨場の対象である。 遠隔臨場の活用を希望する場合は、https://www.city.tottori.lg.jp/site/nyusastu-keiyaku/1683.htmlに掲載された最新の「鳥取市建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する試行要領」によること。
追加				真夏日以上の日に現場作業を見送った場合の履行期間の延長		真夏日以上の日(※)に、現地踏査、測量、ボーリング、調査等の現場作業の実施を見送った場合、見送った期間に相当する日数分、履行期間を延長することができる。 現場作業を見送った場合は、当該月の履行報告書に見送った期間に相当する日数の累計を明記すること。 履行期間の延長を希望する場合は、当該現場作業が完了した日以降、14日以内に履行期間の延長について調査職員と協議すること。 なお、見送った期間に相当する日数には、現場作業日数だけでなく、再準備等に要した日数も含まれる。 積上げる日数は日単位とし、半日、時間単位の作業予定であったとしても1日として加算する。 ※ 真夏日以上の日とは、予報値で湿球黒球温度(WBGT)28℃以上又は日最高気温が31℃以上の日をいう。 なお、夜間作業の場合は作業時間帯の予報値が湿球黒球温度(WBGT)28℃以上又は日最高気温が31℃以上の日をいう。

【共通】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
追加				熱中症対策に係る現場施設、設備に要する費用		熱中症対策に係る、主に現場の施設や設備に要する費用については、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上することができる。希望する場合は、施設・設備の種類、規模、設置期間及び概算費用について、事前に調査職員と協議すること。
追加				賃金又は物価の変動に基づく業務委託料の変更の取扱い		本業務は「測量等業務における賃金又は物価の変動に基づく業務委託料の変更の取扱い」(令和 8 年 3 月 5 日付第 202500244570 号県土整備部長通知)の対象である。 請求等の取扱いについては、https://www.pref.tottori.lg.jp/326731.htmに掲載された本業務調達公告日時点で最新の取扱いによること。
追加				その他		

【測量業務】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
	1		106	業務の実施		当業務は測量法施行令第1条第1項第4号に該当するため、測量法の公共測量に該当しない。
	1		109	主任技術者	3	資格要件は測量業務共通仕様書による。
			115	関係官公庁への手続き等		受注者は、測量業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。 受注者が、関係官公庁等から交渉を受けた時は、遅滞なくその旨を調査職員に報告し協議するものとする。
追加				JR 営業線の近接作業および用地内への立入の申請		測量業務は、JR 山陰本線の近接範囲と JR 西日本後藤総合車両所鳥取支所構内での作業となるため、JR 西日本の各関連部署と協議し、申請すること。
追加				保安要員の配置		線路内で測量業務を行う際は、JR 西日本中国統括本部・米子保線区と線路内立入協議を実施し、以下の条件を満たす保安要員を配置すること。 (1)工事管理者 ①一般社団法人日本鉄道施設協会からJR西日本工事等従事者の認定を受けている者。 ②JR西日本中国統括本部・施設部の実施する特情教育を受講した者。 ③定例的にJR西日本山陰エリア内での線路内立入りをを行っている者。 ④JR西日本中国統括本部・米子保線区の実施する信号制御盤の教育を受講した者。 (2)列車見張員 ①一般社団法人日本鉄道施設協会からJR西日本工事等従事者の認定を受けている者。 ②JR西日本が実施する列車見張に関する実技訓練を受講した者。 ③定例的にJR西日本山陰エリア内での線路内立入りをを行っている者。 ④JR西日本中国統括本部・米子保線区の実施する信号制御盤の教育を受講した者。
追加				鉄道施設内の現地踏査		測量に合わせて鉄道施設内の現地踏査を行うこと。特に桁下空頭(レール天～桁下)、横断ケーブル、電柱及び架空線等の確認を行うこと。

【設計業務】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1		1107	管理技術者	3	以下の要件 1、2、3 を全て満たすこと。 なお、管理技術者と照査技術者は同一の者であってはならない。 【要件 1】 以下に示す①②③のいずれかの資格を有すること。 ①技術士（総合技術監理部門－選択科目：建設－鉄道） ②技術士（建設部門－選択科目：鉄道） ③RCCM（専門技術部門：鉄道） 【要件 2】 以下に示す④⑤⑥のいずれかの資格を有すること。 ④技術士（総合技術監理部門－選択科目：建設－鋼構造及びコンクリート） ⑤技術士（建設部門－選択科目：鋼構造及びコンクリート） ⑥RCCM（専門技術部門：鋼構造及びコンクリート） 【要件 3】 以下の実績を有すること。 2016～2025 年度に完成した、JR 跨線橋の修繕・補修に係る調査及び設計業務で管理技術者又は照査技術者の経験を有すること。
1	1		1108	照査技術者及び照査の実施	1	本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。なお、照査に当たっては、「詳細設計照査要領」及び、調査職員の指示によること。
					2	以下の要件 1、2、3 を全て満たすこと。 なお、管理技術者と照査技術者は同一の者であってはならない。 【要件 1】 以下に示す①②③のいずれかの資格を有すること。 ①技術士（総合技術監理部門－選択科目：建設－鉄道） ②技術士（建設部門－選択科目：鉄道） ③RCCM（専門技術部門：鉄道） 【要件 2】 以下に示す④⑤⑥のいずれかの資格を有すること。 ④技術士（総合技術監理部門－選択科目：建設－鋼構造及びコンクリート） ⑤技術士（建設部門－選択科目：鋼構造及びコンクリート） ⑥RCCM（専門技術部門：鋼構造及びコンクリート） 【要件 3】 以下の実績を有すること。 2016～2025 年度に完成した、JR 跨線橋の修繕・補修に係る調査及び設計業務で管理技術者又は照査技術

【設計業務】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
						者の経験を有すること。
1	1		1111	打合せ等	2 4	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において行うこととし、4回を予定している。 ・当初・中間2回・成果納品時
1	2		1201	使用する技術基準等		最新の技術基準及び参考図書に加えて、「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」を用いて業務の実施にあたるものとする。
1	2		1209	設計業務の条件	1	【設計条件】 設計条件については、初回打合せ時に確認することとする。
1	2		1209	設計業務の条件	9	【建設副産物・リサイクル】 鳥取県建設リサイクル指針、県土整備部リサイクル製品使用基準等に基づき、リサイクル製品、鳥取県認定グリーン商品等の積極的活用を図ること。 なお、リサイクル計画書の作成に当たり、他工事への搬出可能量等については調査職員に協議すること。
1	2		1209	設計業務の条件	11	【コスト縮減】 設計に当たっては、完成後の維持管理を含めたライフサイクルコストを考慮し、総合的な評価により工法等を検討すること。
1	2		1211	設計業務の成果	1	設計図面、数量計算書は、完成計画で取りまとめること。 現場進入路が狭く、資材搬入に当たり小型車(2トン積、4トン積)への積替え等が見込まれる場合は、数量計算書の中に「材料集計表(砕石・購入土等)」を追加作成すること。 材料集計表を作成する対象資材は、土木工事実施単価表に掲載する「02. 一般資材単価」のうち「(07-1)骨(石)材」及び「(07-2)再生砕石」に該当するものである。
追加				施工計画		詳細設計時に必要となる施工計画については、調査職員と協議を行うこと。
追加				新技術(NETIS)等の活用		修繕に用いる工法として、新技術情報提供システム(NETIS)に掲載の技術等の活用を検討すること。

【設計業務】

編	章	節	条	見 出 し	項	特記及び追加仕様事項
追加				関係機関協議		鉄道管理者の関係部署との協議を以下のとおり計4回予定している。 ①ＪＲ西日本 中国統括本部 施設部 計画協議課(広島) 設計条件等確認 2回 ②ＪＲ西日本 中国統括本部 米子保線区 線路内立入申請等 1回 ③ＪＲ西日本 中国統括本部 後藤総合車両所鳥取支所 敷地内立入申請等 1回 なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち会うこと。
追加				関係機関との協議資料作成		上記の鉄道管理者との協議に必要な資料の作成を行うこと。

市道岩吉陸橋線岩吉陸橋修繕工事に伴う測量調査設計業務（補助）

特 記 仕 様 書

1. 適用範囲

本業務の履行に当たっては、本特記仕様書によるほか、別添の「設計業務共通仕様書(最終改定:平成 28 年 10 月 10 日)」及び特記仕様書による。

2. 業務の目的

本業務は、市道岩吉陸橋線岩吉陸橋のうち、J R 山陰本線の近接範囲および JR 西日本後藤総合車両所鳥取支所構内が範囲の、第 5～第 8 径間(P4～P7 橋脚)について、過年度の定期点検で健全性Ⅲの判定を受けた項目を対象に、鉄筋及びコンクリート、鋼材、伸縮装置、舗装等の劣化診断における計画、調査、測定を行い、将来的な劣化予測並びに補修・補強の要否の判定及び対策等を立案し、対策工事に必要な詳細設計を行い、概算工事費を算出することを目的とする。調査の結果、健全度Ⅱ判定の箇所についても修繕の必要性を認めた場合は都度協議とする。

3. 作業内容

3. 1 橋梁補修詳細調査

下部工、上部工の劣化状況や原因を把握するため、下記の調査及び試験を行う。現地の調査箇所は、J R 山陰本線近接範囲内および J R 西日本後藤総合車両所鳥取支所構内のため、線路閉鎖を行わず、昼間作業で工事管理者と列車見張員を配置し、近接作業が可能な範囲を対象に調査を行う。橋脚上部や支承部の調査に際しては、原則梯子や脚立と高所点検カメラ等を用いるものとし、橋梁点検車の使用や足場等の設置を行わないこと。調査を実施前に、J R 西日本米子保線区に線路立入協議と、後藤総合車両所鳥取支所に構内の立入申請協議を実施すること。なお、配置が必要となる工事管理者と列車見張員については、以下の条件とする。

(1) 工事管理者

- ①一般社団法人日本鉄道施設協会から J R 西日本工事等従事者の認定を受けている者。
- ② J R 西日本中国統括本部・施設部の実施する特情教育を受講した者。
- ③定例的に J R 西日本山陰エリア内での線路内立入りを行っている者。
- ④ J R 西日本中国統括本部・米子保線区の実施する信号制御盤の教育を受講した者。

(2) 列車見張員

- ①一般社団法人日本鉄道施設協会から J R 西日本工事等従事者の認定を受けている者。
- ② J R 西日本が実施する列車見張に関する実技訓練を受講した者。
- ③定例的に J R 西日本山陰エリア内での線路内立入りを行っている者。
- ④ J R 西日本中国統括本部・米子保線区の実施する信号制御盤の教育を受講した者。

1) 現地踏査

調査計画書を作成するために現地を踏査するもので、詳細調査の範囲や調査に必要な日数、材料の運搬経路、立入申請協議（列車見張員配置等）、橋梁の劣化程度、その他調査を実施するために必要な現場の概況を確認する。

2) 調査計画

特記仕様書【共通】に記載されている業務の目的及び内容、本特記仕様書に記載されている業務の目的及び作業内容、発注者より貸与された資料、現地踏査結果をもとに業務計画書を作成する。なお、調査計画作成時については、「点検支援技術性能カタログ」および「新技術情報提供システム NETIS」に掲載の技術の活用を検討すること。

3) 形状調査・一般図作成

現況形状を図面に復元し、補修検討・補修詳細設計及び維持管理の基礎資料に供する。既往資料が無い場合は、現況の主要寸法を測定する。既往資料がある場合でも、資料との整合を確認するため、現況の主要寸法を測定する。なお、補強や支承交換などの設計のため、部材詳細図の作成が必要な場合は協議すること。

4) 変状調査

橋梁全体に対して目視、クラックスケール等による外観の変状調査を行い、劣化・損傷の位置・規模を調査し、損傷図を作成する。

変状調査：近接目視を基本とし、ひび割れ（チョーキング）、遊離石灰等の析出状況、漏水、錆汁、鋼材状況（概略目視による亀裂の有無、腐食状況）を調査する。また、同時に打診ハンマーによる点検を実施し、コンクリートに浮きが生じていないか確認する。
近接目視が困難な場合は、新技術を含めた適切な方法を別途提案すること。

5) 調査結果とりまとめ

変状調査、はつり調査及び各種試験等の結果について、とりまとめを行う。

6) 鉄筋探査

鉄筋切断を防ぐ為、鉄筋位置の確認調査を実施する。

7) はつり調査・復旧

鉄筋探査を実施し、鉄筋の位置を確認した上で詳細なはつり調査位置を決定する。調査は既設鉄筋のかぶり、径、ピッチおよび腐食状況の確認を行い、補修設計の資料とする。確認後は、ポリマーセメントモルタル等を用いて復旧を行う。尚、復旧は7 cm 程度を想定している。

8) コア採取・復旧

鉄筋探査の結果をもとに、各種試験の供試体として所定量のコンクリートコアを採取する。

採取後は、ポリマーセメントモルタル等を用いて復旧を行う。採取コアの基本寸法は以下のとおりとするが、配筋状態により採取が困難と思われる場合は適宜変更する。

圧縮強度試験用：直径 100mm×高さ 200mm

膨張量試験用：直径 100mm×高さ 250mm

9) 中性化試験

採取コアを用いてフェノールフタレイン法により、コンクリートの中性化深さを測定する。

10) 圧縮強度試験

採取コアを用いて、コンクリートの圧縮強度を確認する。

11) 静弾性係数試験

採取コアを用いて、コンクリートの静弾性係数を確認する。

12) 膨張量試験

採取コアを用いて膨張量試験を行い、アルカリ骨材反応の今後の進展を推測する。

13) 塩分含有量試験

採取コアを切断して、深さ方向におけるコンクリート中の塩分含有量を確認する（5 スライスを基本とする）。

14) 試験方法

9) から 13) の試験に当たっては、日本工業規格または（公社）日本コンクリート工学会基準の該当する最新の基準によることを基本とする。

3. 2 橋梁補修詳細設計

1) 設計計画

特記仕様書【共通】に記載されている業務の目的及び内容、本特記仕様書に記載されている業務の目的及び作業内容、発注者より貸与された資料をもとに業務計画書を作成する。

2) 原因推定及び健全性評価

調査結果をもとに、劣化の原因を推定し、構造物の健全性を評価する。

3) 補修工法の比較検討

劣化原因、健全性等から補修の要否を総合的に判定し、補修が必要な場合は適した工法により構造性・施工性・経済性等の比較検討を実施し、最適な補修工法を選定する。

4) 補修詳細設計（コンクリート橋・鋼橋）

補修や塗替えを必要とする部位について詳細設計を行い、施工に必要な図面及び数量計算書を作成する。ただし、劣化が著しく、補修と架け替えを比較検討する場合、当て板補修・補強工法による耐荷力回復・向上の必要性が考えられる場合及び支承交換するなど構造計算が必要な場合は別途計上する。

①上下部工・・・橋梁全体（以下の②を除く。）の補修詳細設計

②支承防錆・・・既設鋼製支承の防錆処理（塗装塗替え・金属溶射等）を行う場合の補修詳細設計

5) 施工計画

補修・補強工事に必要な足場等の施工計画を行う。ただし、仮締切などの大規模な仮設計画は別途計上する。

6) 概算工事費の算出

詳細設計により得られた数量をもとに概算工事費を算出する。

7) 関係機関との協議資料作成

詳細調査設計において必要な関係機関との協議用資料、説明用資料の作成及び必要な資料等の収集を行う。関係機関はＪＲ西日本で、以下の部署との協議を予定している。

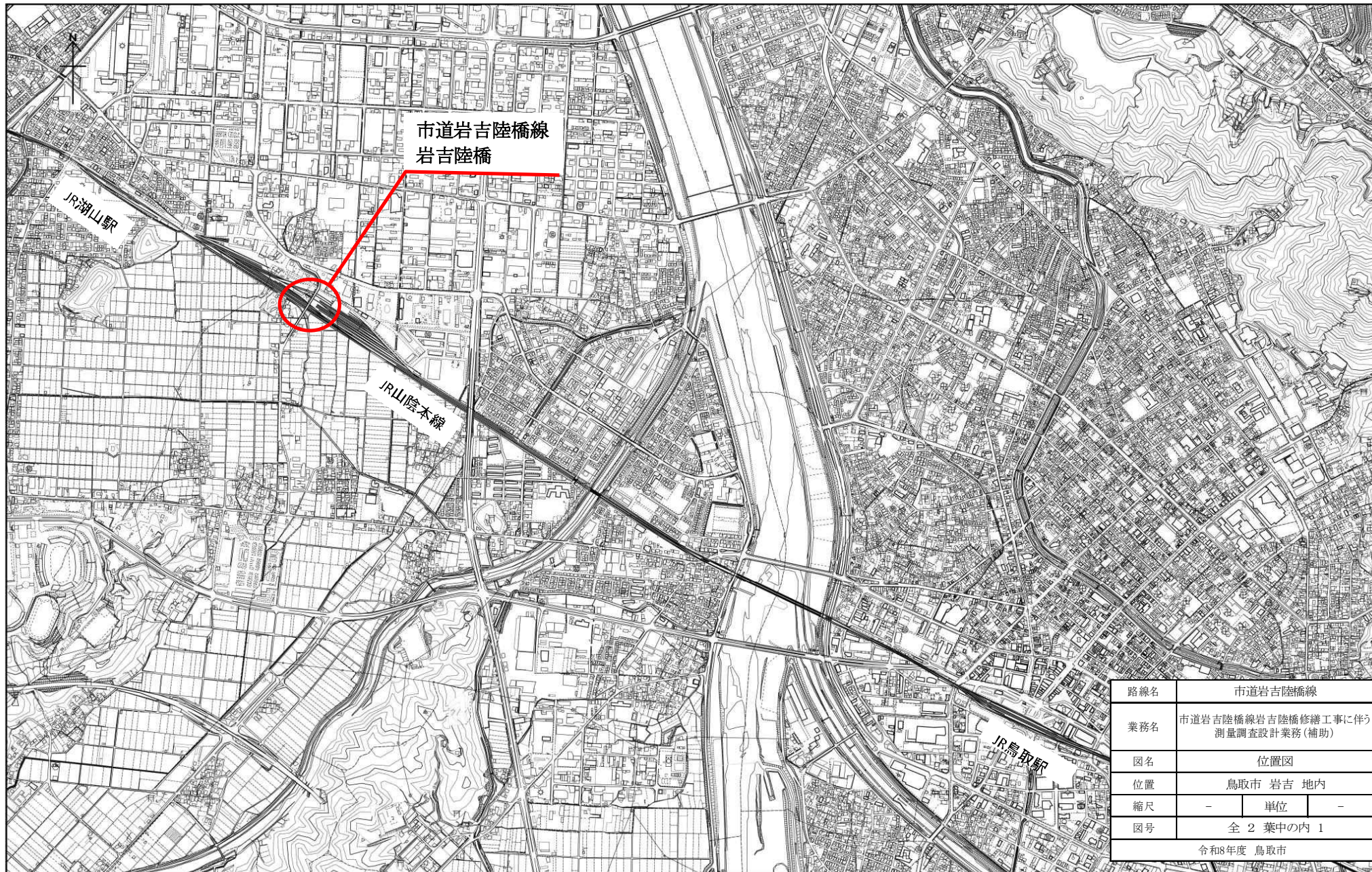
- ・中国統括本部 施設部 計画協議課（設計条件確認等）
- ・中国統括本部 米子保線区（線路内立入申請等）
- ・中国統括本部 後藤総合車両所鳥取支所（敷地内立入申請等）

8) 照査

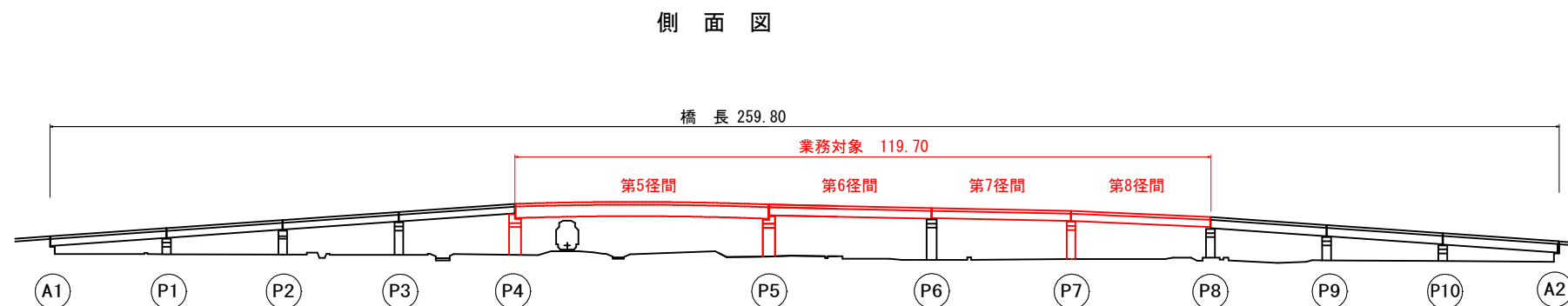
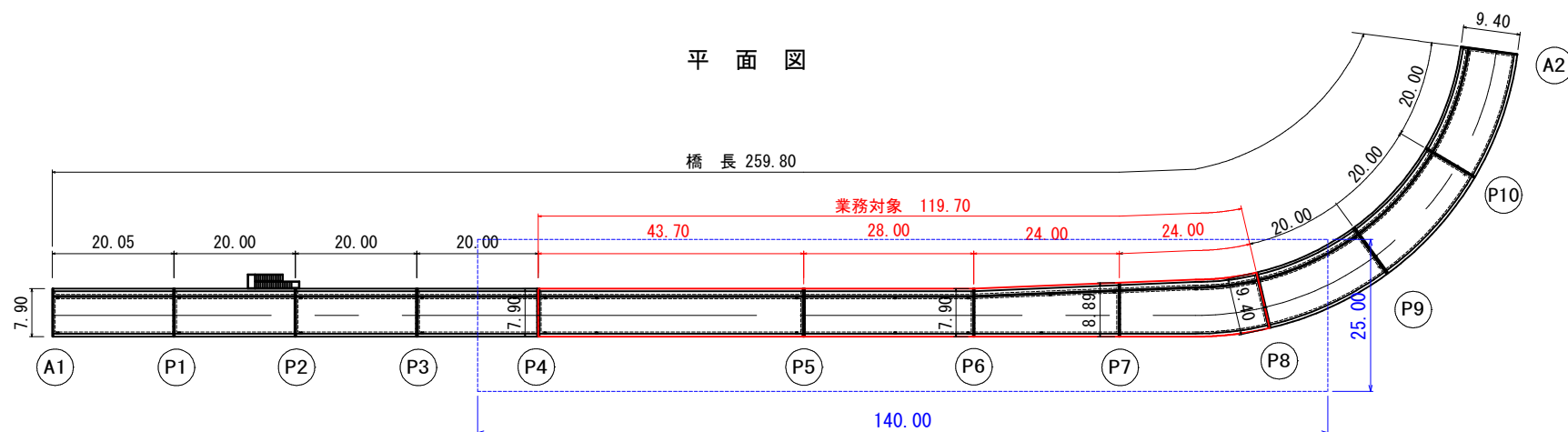
照査技術者は、２) から ７) までの事項について照査する。

9) 報告書作成

健全性評価の結果、補修設計の経緯と工法の内容について整理するとともに、２) から ７) の内容について報告書を作成する。



路線名	市道岩吉陸橋線		
業務名	市道岩吉陸橋線岩吉陸橋修繕工事に伴う 測量調査設計業務(補助)		
図名	位置図		
位置	鳥取市 岩吉 地内		
縮尺	-	単位	-
図号	全 2 葉の中の 1		
令和8年度 鳥取市			



4級基準点測量 N=2点

現地測量 S=1/500 A=0.0035km² (140.00m×25.00m)

横断測量 N=1本 (W=140.00m)

路線名	市道岩吉陸橋線		
市道岩吉陸橋線岩吉陸橋修繕 工事に伴う測量調査設計業務（補助）			
図 名	平面図・側面図		
位 置	鳥取市 岩吉 地内		
縮 尺	—	単 位	—
図 号	全 2 葉中の内 2		
令和 8 年度施行			
鳥 取 市			